博物館、美術館、図書館

R5 7

各種建築物のゾーニング計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．市庁舎の計画に当たり、市民が通常利用するメインエントランス、職員・サービスのエントランス、議会エントランスを、それぞれ別に設けた。 — 市庁舎
- 2．施設一体型の義務教育学校の計画に当たり、低学年児童が安心して運動や遊ぶことができるように、専用の運動広場を設けた。 — 学校
- 3．**調査・研究部門をもつ博物館**の計画に当たり、研究対象である収蔵品を不必要に移動させることがないよう、研究部門を収蔵部門に近接して配置した。 — 博物館
- 4．総合病院の計画に当たり、ICU（集中治療室）を、人や機器の出入りが多い手術部と離し、療養できる病棟部門に配置した。 — ✕ 総合病院

R5 17

劇場・舞台に関する用語の説明として、最も不適当なものは、次のうちどれか。

- 1 ．**コンサートホール**におけるワインヤード型とは、舞台を取り囲むように段差をつけて客席が配置されたホール形式のことである。 — コンサートホール
- 2 ．**プロセニアムステージ形式の劇場**におけるフライズ（フライロフト）とは、幕や舞台照明等の吊物が収納された、舞台上部に設けられた空間のことである。 — 劇場
- 3 ．**能舞台**における橋掛りとは、本舞台の後座から鏡の間に続く廊下のことであり、出演者の入退場だけでなく、演技・演出上の重要な場所である。 — 能舞台
- 4 ．**歌舞伎劇場**における本花道とは、観客席を上手側で縦に貫く通路舞台のことであり、客席の中を通って舞台に出入りできる歌舞伎独特の演技空間である。 — ✕ 歌舞伎劇場

R3 4

建築計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1 ．**小学校**の計画に当たり、インクルーシブ教育システム構築のため、障害のある児童と障害のない児童とが、交流及び共同学習できる施設とした。 — 小学校
- 2 ．**病院**の計画に当たり、医療行為を中断することなく設備更新が行えるように、手術室のある階の上階に設備階（インタースティシャル・スペース）を設けた。 — ✕ 病院
- 3 ．**ホテル**の一般客室を、車椅子使用者用客室へ改修するに当たり、二つの客室の間仕切り壁を撤去して一室化し、客室内にスロープを設置し、客室全体の床の高さを、トイレ・浴室等の床の高さと合わせた。 — ホテル
- 4 ．**図書館**の計画に当たり、地上階に開架書庫や地域住民が利用する施設等を配置したので、半地下階に貴重書保存用書庫を設け、年間を通じて自然換気を行うこととした。 — 図書館

R元 7

建築物の各部の寸法等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1 ．地下階に駐車場を設ける大規模店舗において、売場のレイアウトと駐車場の**駐車台数の効率**を考慮して、柱割りを 8.5 m ×8.5 mとした。 — 店舗
- 2 ．高層事務所ビルの**エレベーターの計画**において、低層用 5 台と高層用 5 台とを幅 4 mの通路を挟んで対面配置とした。 — ✕ 事務所
- 3 ．**図書館**の開架閲覧室における複式（両面使用型）書架の中央支柱の心々距離については、車椅子使用者同士がすれ違うことができるように、250 cmとした。 — 図書館
- 4 ．普通乗用車を駐車させる**屋内駐車場**の計画において、1 台当たりの所要面積をなるべく少なくするため、直角駐車とした。 — 駐車場

R元 15

木材を活用した建築物に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1 ．住田町役場（岩手県）は、凸レンズ状に組まれたトラス梁が並んだ屋根架構をもつ建築物である。
- 2 ．群馬県農業技術センター（群馬県）は、小断面の製材を格子状に組み合わせた屋根架構をもつ建築物である。
- 3 ．海の博物館展示棟（三重県）は、主要構造部の柱や梁には、鋼材を内蔵した集成材を使用し、外壁にはガラスカーテンウォールと木製ルーバーを使用した建築物である。
- 4 ．出雲ドーム（島根県）は、集成材とケーブル等で構成された立体張弦アーチと、膜屋根を組み合わせた架構をもつ建築物である。

H26 17

建築計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．**事務所**の計画に当たり、固定間仕切を使わず、ローパーティション・家具・植物等 を自由に配置することによって、適度なプライバシーを保った執務空間を形成する オフィスランドスケープを採用した。 — 事務所
- 2．**事務所**の計画に当たり、在席率が低い職種の事務所であったので、フリーアドレスオフィスを採用し、執務空間を有効活用できるようにした。 — 事務所
- 3．**劇場**の計画に当たり、台詞を主体とする演劇の見やすさを考慮し、可視限界距離を20mとして客席の配置を計画した。 — 劇場
- 4．**図書館**の計画に当たり、閉架式書庫の内部にブラウジングルームを設け、BDSによって、入室管理を行うことができるようにした。 — ✕ 図書館

H26 15

公共建築物の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．**美術館**の計画において、自然採光を利用した展示室に光量不足を補うための照明として、高演色蛍光灯を用いた。 — 美術館
- 2．**中学校**の計画において、各教科で専用の教室をもち、生徒が時間割に従って教室を 移動して授業を受ける総合教室型とし、ロッカー等の生徒の生活諸施設を充実させ た。 — ✕ 中学校
- 3．**地域図書館**の計画において、延べ面積当たりの蔵書数を、40～50冊/m2程度とした。 — 図書館
- 4．**劇場**の計画において、客席と舞台の一体感を高めるために、プロセニアムをもたないオープンステージ形式を採用した。 — 劇場

H27 15

公共建築物の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．客席数 1,600席の**コンサートホール**の計画において、音響が安定しているシューボックス型を採用した。 — コンサートホール
- 2．一般的な**総合病院**の計画において、外来部門の床面積の割合を、延べ面積の 13%とした。 — 総合病院
- 3．人口 50万人の都市にある**市庁舎**の計画において、転入・転出等の届出の受理や証明書の発行等を行う窓口事務部分の床面積の割合を、延べ面積の８%とした。 — 市庁舎
- 4．24クラスの**小学校**の計画において、普通教科はクラスルームで行い、実験や実習の授業は特別教室で行う教科教室型を採用した。 — ✕ 小学校

R元 14

劇場に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1 ．能楽堂は、一般に、「本舞台」、「後座」、「地謡座」及び「橋掛り」から成り立つ舞台と、その舞台を 3 方向から眺める客席をもつ空間である。 — 能楽堂
- 2 ．1997年に復元されたロンドンのシェークスピア劇場（グローブ座）は、観客と舞台との一体感を得られやすいプロセニアム形式の劇場である。 — ✕ 劇場
- 3 ．搬出入のためのサービスヤードにおいて、ウィング式の大型トラックが停車するスペースの、床から天井までの高さは 5 m以上とすることが望ましい。
- 4 ．車椅子使用者用の客席は、車椅子使用者が選択できるように、2 箇所以上の異なる位置に分散して設けることが望ましい。

H28 2

建築物の保存、再生、活用等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．東京駅丸の内駅舎(東京都千代田区)は、赤レンガのファサードをもつ駅舎であり、特例容積率適用地区制度を活用して、未利用容積を周辺建築物に売却・移転したう えで、保存・復原したものである。
- 2．目黒区総合庁舎(東京都目黒区)は、民間企業の本社屋として建築された建築物を、耐震補強、設備改修等を行ったうえで、庁舎として再生・転用したものである。
- 3．神奈川県立近代美術館鎌倉館(神奈川県鎌倉市)は、竣工時の形状を損なうことなく地震に対する安全性を高めるため、免震レトロフィット工法を採用し、保存・改修 したものである。 — ✕
- 4．旧門司税関(福岡県北九州市)は、明治・大正時代の歴史的建造物を活かしたまちづくりである「門司港レトロ事業」の一環として、明治 45年に建築された税関庁舎を、港湾緑地の休憩所等として再生・活用したものである。

H28 15

博物館・劇場の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．**博物館**の保存、修復のための調査・研究部門は、研究対象である収蔵品の移動を最 小限に留めるために、調査・研究部門と収蔵部門とを隣接して設ける計画とした。 — 博物館
- 2．**博物館**の収蔵部門は、収蔵庫内の保存環境を一定に保つため、前室を設ける計画とした。 — 博物館
- 3．**劇場**の搬出入のためのサービスヤードにおいて、ウィング式(荷台の側面と屋根面を一体として上方に開くことができるもの)の大型トラックが停車するスペースの、 床から天井までの高さを４mとした。 — ✕ 劇場
- 4．**劇場**において、定員 600人の固定式の客席部分の面積(通路を含む。)を、400m2とした — 劇場

H27 8

建築物の各部寸法に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．**小学校**における児童用の階段において、踏面の寸法を 28cm、蹴上げの寸法を 15cmとし、墜落防止手摺の手摺子間の内法寸法を　11cmとした。 — 小学校
- 2．**劇場**において、座席の幅(１人分の間口)を 55cmとし、前後間隔(背もたれ相互の間隔)を 95cmとした。 — 劇場
- 3．**図書館**において、貸出用のカウンターの高さを、子どもや車椅子使用者に配慮して、 床面から 85cmとした。 — ✕ 図書館
- 4．自転車の駐輪場において、１台当たりの**駐輪スペース**を 70cm×190cmとした。 — 駐輪場

博物館/美術館

- 壁面の長さ
  - 400m
  - 休憩スペース
- 面積
  - 50；保管・研究関係部門
  - 50；展示・教育活動関係部門
- 照明
  - 基本；人工照明
  - ＋自然採光　有
  - 演色性
    - ハロゲンランプ
    - 白熱球
    - 高演色蛍光灯
      - 自然採光を利用した展示室
      - 光量不足を補うための照明
  - 照度
    - 日本画　150～300lx
    - 洋画　300～750lx
  - 防熱フィルター/反射板
- 収蔵庫
  - 前室
    - 中間の空気層；空調
    - 収蔵庫内の保存環境を一定に保つ
    - 収蔵部門
  - （隣接）
    - 収蔵庫；収蔵部門
    - 保存、修復；調査・研究部門
    - 収蔵品の移動；最小限
- 燻蒸室
  - 害虫の除去
  - 近：荷解室/収蔵室
- コミュニティー施設
  - 住民参加　計画から
  - 類似施設の複合化
    - 有効面積
    - 投資負担
- 自転車の駐輪場
  - 70cm×190cm/１台　駐輪スペース

図書館

- 出納カウンター
  - 見通し
    - 閲覧室
    - 書架
- ブラウジングコーナー　入口近：新聞/雑誌
- レファレンスコーナー　近：目録室/出納デスク
- 書架の収容量
  - 開架式書架　170～180冊/㎡
  - 閉架式書架　230～280冊/㎡
  - 集密書架　440～640冊/㎡
- BDS
  - 磁気・機械装置
  - ブックディクションシステム
- 貸出用：カウンター高さ
  - 床面から 85cm
  - 子どもや車椅子使用者に配慮
- 地域図書館
  - 開架式
  - 延べ面積当たりの蔵書数　40～50冊/m2程度
- 一般閲覧室　1.6㎡/人
- 児童閲覧室
  - 自由開架式
  - レファレンスルーム　近接✕